

つやま産業塾の風景

第11期 経営能力開発講座 期間 / 平成18年10月～平成19年9月

回数	期 日	テーマ	講師等	
1	平成18年10月13日	開講式・オリエンテーション	つやま産業塾塾長	和田 力
2	平成18年11月14日	事業所・会社案内(塾生による自社説明)		
3	平成19年 1月16日	事業所・会社案内(塾生による自社説明)		
4	平成19年 2月13日	経営基礎理論 決算書の見方	アルマ経営研究所取締役	加藤 珪一
5	平成19年 3月13日	経営基礎理論 自社の強みと弱みの分析方法	アルマ経営研究所取締役	加藤 珪一
6	平成19年 4月10日	企業経営の実際 新ビジネスを創造する	(株)三松・ジュエルダン代表取締役	清水 男
7	平成19年 5月 8日	企業経営の実際 経営革新のすすめ	(株)脇木工専務取締役	脇 容子
8	平成19年 6月12日	企業経営の実際 失敗を生かすもの創り	アスカバイオ(株)代表取締役	吉井 忠
9	平成19年 7月10日	視察研修(バイオマス関連施設)	真庭市	
10	平成19年 8月21日	視察研修(製造業事業所)	池田精工(株) 脇木工(株) (株)光岡製作所	
11	平成19年 9月14日	成果発表・閉講式・塾長講話	つやま産業塾塾長	和田 力
公開講座	平成18年12月 3日	演題:「これからの地域社会」	財団法人地域創造理事長	林 省吾

第1回講座：開講式・オリエンテーション

日時：平成18年10月13日(金) 18:30～21:00

場所：津山圏域雇用労働センター 第1会議室

つやま産業塾第11期経営能力開発講座が開講しました。

今期は、25名(新規18名・継続7名)の方が受講されます。

業種は、商業・工業・農業・サービス業に加え、金融業、行政や教育機関、今後起業を計画している方も参加されています。男性22名、女性3名、年齢も20代から70代まで幅広い方々の参加となりました。

第1回講座では、和田力つやま産業塾塾長、高原清隆津山市産業経済部部長の挨拶にはじまり、和田塾長の講話、志望動機、現在抱えている問題点を含めて自己紹介を行い、代表幹事1名、幹事2名を選出しました。

講座後は、ほぼ全員が参加された懇親会で、より一層の親睦を深めました。

第2回講座：自社紹介

日時：平成18年11月14日(火) 18:30～21:00

場所：津山圏域雇用労働センター 第1会議室



第2回講座は、18名の塾生が参加し、9名の方々が自社紹介をしました。

金属スクラップ、リサイクル、美容室や貸衣装、空調機やお菓子の製造販売等、それぞれの事業所の業務内容や、現時点での問題点等を、パンフレットやパソコンを使って説明しました。

受講生からは、「美容師になるには専門学校を出てないとなれないか」等の質問や、「顧客管理のために、顧客カードを作成したらどうか」等の助言をする等、様々な意見交換をすることができました。

2回目ということもあり、和やかな雰囲気で行われました。

市民公開講座

日時:平成18年12月3日(日) 14:00~16:00

場所:津山国際ホテル 桜華の間

講師:林 省吾 氏 (財団法人地域創造 理事長)

演題:「これからの地域社会」



つやま産業塾では、「自ら考え、自ら行う人づくり」を理念に掲げ、定例の講座とは別に、一般市民の皆様にもご参加いただける市民公開講座を毎年開催しています。

今回は、美作市(旧勝田町)出身で、総務事務次官も勤められた林省吾氏をお迎えし、今後の地域社会のあり方についてご講演いただきました。

「地域づくりはこれまで国主導で行われてきたが、これからは住民自らの活動が重要。地域づくりは小学校区単位が望ましい。子育ては家庭だけではなく、地域全体で育てることが重要。歩いていける範囲で、介護、医療が受けられる体制が理想。」等、具体的な事例を含めてお話いただき、「これからは行政任せではなく、住民主体のしっかりしたコミュニティ組織をつくり、自分たちの地域は自分たちで守り、創っていかなければならない。」と呼びかけられました。質疑応答では、道州制の質問も出るなど、参加いただいた皆さんは熱心に聞き入っていました。

講演会終了後は、つやま産業塾関係者懇談会が開催されました。残念ながら、林講師はご参加いただけませんでしたが、津山市人づくり事業運営委員会委員、つやま産業塾塾生・卒業生の皆さん、歴代塾長や事務担当者が参加され、当時の思い出話や近況等報告いただきながら懇親を深めました。

参加者 公開講座:170名(塾関係者 100名 一般参加者 70名)

懇談会:40名

林 省吾 氏 略歴

美作市出身 東京大学法学部出身

昭和45年4月 自治省(現総務省)採用

平成17年8月 同省事務次官

平成18年7月 退官

平成18年9月 現職

第3回講座：自社紹介

日時：平成19年1月16日(火) 18:30～21:00

場所：津山圏域雇用労働センター 第1会議室



第3回講座は、15名の塾生が参加し、10名の方々が自社紹介をしました。

前回講座と同様、受講生の方々が、旋盤技術、米作、水耕栽培、印刷、金融等、ご自身の事業内容について説明されました。同業者との差別化をはかった経緯や、起業の経緯等について説明され、受講者からは「技術革新に対する取り組み」や、「この仕事の楽しみは？」等の質問が出る等、有意義な意見交換がなされました。

講座終了後の懇親会では、講座では訊けなかった裏の話や、自身の事業について、全国大会で発表すること等の意見交換もされていました。

第4回講座：経営基礎理論(1)「決算書の見方・経営分析演習」

日時：平成19年2月13日(火) 18:30～21:00

場所：津山圏域雇用労働センター 第2会議室

講師：加藤珪一氏 (株)アルマ経営研究所 チーフコンサルタント



第4回講座は、16名の塾生が参加し、加藤講師から「決算書の見方」についての講義を受けました。

加藤講師から、期間損益計算書や期末貸借対照表の見方と、それらを元に会社がおかれている状況把握の方法についてお話いただきました。後半は、演習問題を解くことにより、「収益性や安全性はから読み取れる」等、より具体的な分析方法を学びました。

受講生からは、「貸借対照表に記載する際の株価の取り扱い」や、「知的財産の取り扱い」について質問が出る等、活発な講座となりました。

第5回講座：経営基礎理論(2)

「自社の強みと弱みの分析方法・商品、製品分析の見方」

日時：平成19年3月13日(火) 18:30～21:00

場所：津山圏域雇用労働センター 第1会議室

講師：加藤珪一氏 (株)アルマ経営研究所 チーフコンサルタント



第5回講座は、14名の塾生が参加し、第4回講座に引き続き、加藤講師にご講義いただきました。前回講座で出されていた宿題の解説から、本日の主題である「自社の強みと弱みの分析方法」についてお話いただき、後半は4～5人のグループにわかれ、SWOT分析表を用いた演習・討論、塾生の事業所に当てはめた分析・討論を行いました。

グループ討論の中で、塾生からは様々な質問が出され、加藤講師から「時流にのるとライバルができる。」、「同じ事象でも機会とみるか脅威と見るかは捕らえ方による。」、「同僚や家族とディスカッションすると、思いがけないアイデアが生まれる。」等の助言をいただきました。

第6回講座：企業経営の実際(1)

「新ビジネスを創造する」「経営理論を実際に生かす」

日時：平成19年4月10日(火) 18:30～21:00

場所：津山圏域雇用労働センター 第1会議室

講師：清水男氏 (株)三松・(株)ジュエルダン 代表取締役



第6回講座は、13名の塾生が参加し、清水男(しみず だん)講師から、ご自身が学んだ経営理論や、理論をどのように経営に生かしたかについてご講義いただきました。

起業から事業拡大までの経緯や、現在行っている社員教育について、ピータードラッカーやシュンペーターの経営理論をどのように生かしたかご紹介いただきました。後半は、ご自身が理事長をされている商業施設で企画した「一店逸品フェア」のビデオ(テレビ放映されたもの)を見ながら、企画のコンセプトや効果を説明いただきました。

受講生からは、事業拡大した際の状況や、出店場所の選定等について質問がなされ、有意義な講義となりました。

第7回講座：企業経営の実際(2)

「経営革新のすすめ」「小企業経営と子育て」

日時：平成19年5月8日(火) 18:30～21:00

場所：津山圏域雇用労働センター 第1会議室

講師：脇容子氏 (株)脇木工 専務取締役



第7回講座は、16名の塾生が参加し、脇容子講師から経営革新するに至った経緯についてお話いただきました。

災害から会社を立て直した経緯や、家具のブランド「momo house」「momo beans」を確立したこと、人との出会いを大切に、「心を開いて他人と話をする。」と、自然と転機が訪れること、家族で協力しながら経営を拡大したことなど、これまでの実体験に基づいたお話をされました。

受講生からは、「ブランドのマークは造らないのか?」、「経営理念は?」、「働きすぎに思えるが少しは休むことを考えないのか?」等の質問があり、それぞれにユーモアを交えて回答いただきました。

講座後に有志で行われた懇親会では、仕事の話から私生活の話まで皆さんと意見交換し、大変有意義な講座となりました。

受講生の皆さんは、脇講師から元気をもらっていました。

第8回講座:企業経営の実際(3)

「失敗を生かすもの創り」

日時:平成19年6月12日(火)

場所:津山圏域雇用労働センター 第1会議室

講師:吉井忠氏 アスカバイオ(株) 代表取締役



第8回講座は、13名の塾生が参加し、吉井忠講師から失敗を契機に事業展開していった経緯についてお話いただきました。

大手商社から「肥料を造ると売れる」と言われ造ってみたが、売り上げがあがらなかったこと、工場周辺住民から、「においがする」とクレームがあったこと等、失敗談について説明いただき、その苦境をどのように乗り切ったかを丁寧にお話いただきました。

また、社長の意見を押しつけるのではなく、従業員全員と話し合いをしていくことで、従業員の意識改革が図られ、結果的にコストダウンにつながったこと等、人間関係についても実体験を基にお話いただきました。

受講生からは、「経営理念」や「従業員の志気を高める方法は?」、「木片等の処理方法で良いアイデアはないか?」等様々な質問が出される等、活発な講義となりました。

第9回講座：視察研修

「バイオマスツアー（真庭市）」

日時：平成19年7月10日（火）

場所：真庭市バイオマス関連施設（5施設）



第9回講座は、受講生及び事務局合計16名で、真庭市のバイオマス関連施設を視察しました。

真庭市では、バイオマスの視察が多いことから、真庭市、事業所、真庭市観光連盟が協力し、バイオマスツアーを実施しており、つやま産業塾として参加しました。

まず、勝山文化往来館ひしおで、真庭市担当者及び真庭市観光連盟の担当者から、バイオマスの取り組みについて、経緯や現状等のお話をいただき、その後、真庭市観光連盟担当者の引率のもと、関連施設を視察しました。関連施設では、バイオマスを取り入れた経緯や、現状、収支に関する事等、実際の施設を見ながらご説明いただきました。

参加者の中には、バイオマスを取り入れる準備をしている方もおられ、バイオマスに関するメリットやデメリットについて熱心に質問されていました。この視察で、初めてバイオマスについて知った方もおられ、その方々も、様々な質問をされる等、大変有意義な視察となりました。

視察先 銘建工業(株)本社工場(真庭市勝山1209)
地域福祉センター百楽苑(真庭市草加部1720-2)
(有)エコライフ商友(真庭市惣84-7)
ランダス(株)(真庭市開田630-1)
三井造船(株)(真庭市中原324-10)

第 10 回講座：視察研修

日時：平成 19 年 8 月 21 日(火)

場所：池田精工(株) (株)脇木工 (株)光岡製作所



第 10 回講座は、受講生及び事務局合計 12 名で、圏域の製造業関連の事業所を視察しました。

池田精工(株)では、7 月に流通センター内に新築された新工場を訪問しました。池田晃社長から、創業の経緯や事業展開、工場を新築した経緯等の説明をいただき、その後、工場内を池田社長の説明をいただきながら見学しました。メインとなる工作機械がまだ導入されていないとの事でしたが、制度の高いステンレス製部品の製造に、参加者は皆驚いていました。

(株)脇木工では、脇利幸社長から事業展開についてご説明いただき、脇容子専務に工場内を案内いただきました。脇専務は、第 7 回講座で講義をいただいておりますが、工場を見学させていただいたことで、製品に対する想いやこだわりをより実感することができました。

(株)光岡製作所では、光岡明弘社長から事業内容の説明をいただき、塾卒業生である光岡敏郎製造部長に工場内の説明をいただきました。質疑応答では、職場環境や製品の内容等様々な質問をさせていただきましたが、光岡社長から 1 つ 1 つ丁寧にかつ楽しくご回答いただきました。

今回の視察では、「ものを創る」うえでのご苦労や楽しみをそれぞれお聞かせいただき、また、普段見ることのできない製造過程を見ることができ、大変有意義な講座となりました。

第 11 回講座：閉講式

日時：平成 19 年 9 月 14 日(金)

場所：津山圏域雇用労働センター



第 11 回講座は閉講式を行ないました。

成績優秀者に対して修了証書を交付させていただき、塾に参加した感想、成果等各々から発表いただきました。

参加者からは、「講師が同業者であったため、経営方針等参考となる話を聞くことができた。」、「異業種の方と知り合いになれたことで、自分の仕事を違った視点から見るようになった。」、「講師から元気をもらうことができた。」等の感想と、「視察先が製造業に偏っていた。」、「企業倒産等失敗例の話をもっと聞きたかった。」等のご意見をいただきました。

最後に和田塾長から、「勉強は繰り返しが必要！」との講和をいただき、第 11 期経営能力開発講座の全日程を修了しました。

塾に参加された皆さん、大変ご苦労様でした。事務局といたしましては、皆さんと勉強したこと、いただいたご意見を今後の参考とさせていただき、よりよい講座となるよう努力していきます。塾生の皆さんも、講座で見聞きされたことを、今後のお仕事に活かしていただければ幸いです。

1 年間本当にご苦労様でした。そしてありがとうございました。

よりよい津山となるようお互い頑張りましょう！